

# 建設現場に対し官民合同パトロールを実施

平成30年12月5日、宮古労働基準監督署では**建設業年末年始労働災害防止強調期間**中の取組みとして、建設業労働災害防止協会沖縄県支部宮古分会とともに「**平成30年度第二回官民合同パトロール**」を実施しました。



参加者で指差呼称

建設会館玄関にて行われた出発式では、宮古労働基準監督署長、建災防宮古分会長の挨拶が行われ、参加者全員で今年度のスローガン

## 無事故の歳末 明るい正月

を指差呼称しました。

その後、宮古島市内の計2現場をパトロールしました。

パトロール実施後は現場で撮影した写真をスクリーンに映しながら講評会を行い、

- 用具入れが用意され、また、廃棄物の分別が適切に行われており、現場がきれいに整理整頓されていた
- 足場階段の折り返し箇所にも下棧か幅木を設置した方が良い
- 丸鋸盤に補助テーブルが自作され、部材の回転による危険が防止されていた
- 地下ピットについて酸素濃度測定が適切に行われていた
- 朝礼広場にて重機配置図が図示され、わかりやすかった
- 鉄筋頭頂部が養生され、安全意識が高かった

等の意見が出され、好事例については各現場でも参考にすることとしました。

また、

- 現場作業とは離れるが、忘年会等で飲酒の機会も増える。「飲酒運転は絶対しない」を各現場で呼びかけよう
- 仕事外での事故にも注意し、みんなで明るい正月を迎えよう

と、仕事以外での事故防止についても意識を高め、年末年始無事故への決意を新たにしました。



現場に入場するパトロール員